

天を動かし地を襲う
疾風怒濤の風
狂乱の幕末に起つ仕事人……

監督/広瀬 襄

プロデューサー
山内久司(朝日放送)
脚本
吉田 剛
音楽
平尾昌晃
撮影
石原 興
照明
中島利男
製作協力
京都映画株式会社
株式会社しょうざん

THE HISSATSU

ブラウン館の怪物たち

松竹創業九十周年記念
35 朝日放送創立三十五周年記念
松竹・朝日放送提携作品

必殺!

藤田まこと
鮎川いづみ
京本政樹
村上弘明
ひかると一平
山内としお
梅津栄
白木万理
菅井きん
山田五十鈴

中井貴恵
柏原芳恵
沖田浩之
笑福亭鶴瓶
堀沢とよき
兵藤純二
高田龍之介
金田のりお
西川ギルバート
ケンタ均
大前家さんま
明石健作
森田幹二朗
平 幹二朗

必殺！

THE HISSATSU

ブラウン館の怪物たち

監督／広瀬 襄
松竹・朝日放送提携作品



かいせつ

高度成長社会への幻滅と、迫りくる情報化社会への不安の中で、人々は今こそ「ロマン」を渴望する。

昨84年公開され、大好評を博した「必殺／＼THE HISSATSU」は、ニュー時代劇として高い評価を得たが、今回、松竹創業90周年・朝日放送創立35周年記念として製作された「必殺／＼ブラウン館の怪物たち」は、より楽しい、より面白い時代劇を目指してグレイド・アップし製作されるものである。72年より続いているTV映画「必殺シリーズ」（松竹テレビ部・朝日放送製作）は高視聴率を誇る怪物番組である。このシリーズを支えている「現代性」「豊かな娯楽性」をそのままに、映画ならではの豪華な、仕掛けとゲストで、ニュー時代劇の名にそむかない傑作を送り出そうというものである。監督は5年ぶり映画に取り組み広瀬襄。

撮影は「光」と「陰」の魔術師石原興。その名コンビを謳われる照明中島利男、美術倉橋利昭が吉田剛のシナリオに挑む。主演の藤田まことは、ますます磨きのかかった演技で中村主水の存在感を高めれば、「お葬式」で数々の賞に輝いた菅井きんの姑せん、家内のりつ、白木万理と中村家の面々は健在。

軽妙な演技と美貌で快調ノ鮎川いずみの「何でも屋のお加代」ヤング世代を代表する西順之助のひかる一平、人気の田中サマに山内としお、そして日本を代表する大スター山田五十鈴のバチさばき冴える元締おりと魅力のキャラクターは欠かせない。

TV「必殺仕事人V」から新たに加わった「組紐屋の竜」京本政樹、「花屋の政」村上弘明のフレッシュな新スターが注目をあびている。

さらに中井實恵が前回のお葉役で不思議な女仕事人役を演じれば、人気急上昇の森田健作、柏原芳恵、沖田浩之、笑福亭鶴瓶、平幹二朗などのスターが参加、前作を上回った華やかさに彩られる。

時は幕末、尊王攘夷一色の京都は岡崎に三百年前、徳川家康が建てたという不気味な黒谷屋敷の謎をかきつけた二つのグループがあった。ひとつは京都公卿を中心とする倒幕派、ひとつは死の商人ブラウンを中心とする外人グループ。この二派に巻きこまれた中村主水を中心とする仕事人たちは窮地に追い込まれ、秘策、秘術を尽して戦う……黒谷屋敷の謎とは何か、大仕掛を満載して古都京都・神戸異人館を舞台に外人殺し屋、忍者、サカス団と登場するスーパーアクションの新作「必殺／＼ブラウン館の怪物たち」は思いもつかないアイデアと軽快なテンポが身上的作品である。

◆スタッフ◆

プロデューサー……山内久司

脚本……吉田剛三

監督……菅井洋

撮影……石原昌

美術……倉橋利昭

録音……中島一男

編集……本郷浩一

進撃……木村栄一

助監督……津島喜一

制作主任……黒田勝樹

制作協力……高橋信仁

制作協力……京都映画株式会社

制作協力……株式会社しょうざん

◆キャスト◆

中村主水……藤井まこと

せんりつ……菅井きん

白木……万理

鮎川いずみ……樹

京本政樹……明

竜崎……上弘

西順之助……ひかる一平

筆頭同心……山内としお

玉助……梅津栄

おりく……山田五十鈴

お葉……中井貴恵

藤林辰之進……森田健作

百地お千……柏原芳恵

服部佐一郎……沖田浩之

蜘蛛手のお時……塩田浩之

大黒屋如安……金田龍之介

丑寅の角助……笑福亭鶴瓶

お国……兵衛

土方歳三……西川ゆき

沖田総司……明石家さんま

稲葉正邦……幹二朗